

中村延子

区議会レポート

Vol. 20

平成30年8月号

発行／立憲民主議員団

中野区中野4-8-1
Phone: 03-3228-8876
Fax: 03-3389-8718

編集／中村延子事務所

中野区弥生町4-36-6-402
Phone: 080-6533-9450
Fax: 03-3380-3150
email: n@nakamuranobuko.jp



中村延子 プロフィール

1981年9月2日東京都中野区生まれ おとめ座、B型、酉年
趣味：音楽、料理、旅行、フラワーアレンジメント

- 1994年 東京文化学園小学校卒業
- 1997年 東京文化学園中学校卒業
- 2001年 米国アニーライトスクール
高等部卒業
夏休みを利用して宝仙学園幼稚園で
ボランティア
- 2005年 米国クレアモント・ピッツァー
カレッジ卒業
在学中、上智大学比較文化学部にて
サマースクール受講
- 2004年 北京大学医学部へ短期留学
- 2005年 民間企業に就職
- 2009年 衆議院議員手塚よしお事務所
秘書
- 2010年 参議院議員蓮舫事務所 秘書
- 2011年 中野区議会議員選挙にて
初当選(1,530票)
- 2015年 中野区議会議員選挙
2期目の当選(2,513票)



▲兄と2人で祖母の故郷・広島県福山市にて



大学卒業式▶



▲メイデイでのスピーチ



▲北京大学に短期留学

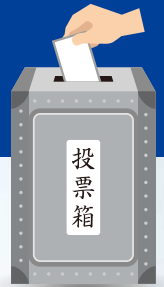


▲2011年4月中野区議選

◎役職

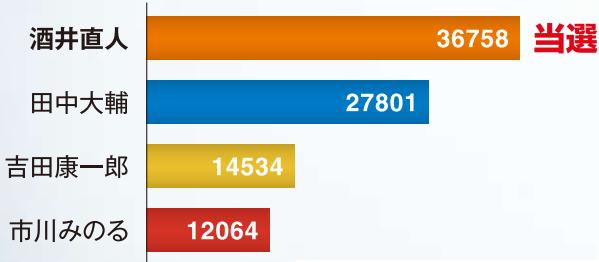
議会運営委員会、総務委員会
少子高齢化対策調査特別委員会

6月10日に行われた区長選挙および 区議会補欠選挙の結果です



立憲民主党が推薦をした酒井直人さんが初当選を果たしました。
また、区議会補欠選挙でも立憲民主党公認の杉山司さんが初当選。
区議会での会派も6名となりました。これからも、区議会議員として行政のチェック機能を
果たしつつ、新しい区長が選挙戦を通じて目指した区政を実現するため、努力してまいります。

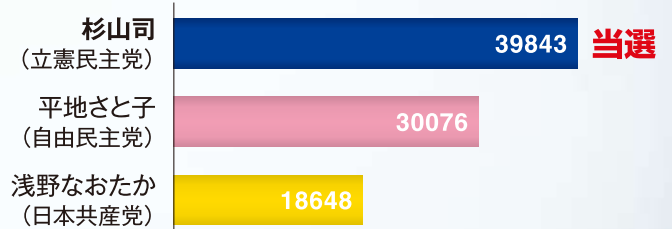
中野区長選挙 (投票率34.45%)



酒井直人新区長



中野区議会補欠選挙 (投票率34.42%)



杉山司区議会議員





所信表明について

1. これからの区政運営について

酒井直人区長においては、6月10日に行われた区長選挙で36,758票を獲得し、初当選を果たされた事、心からお祝い申し上げます。投票率も前回に比べ4.96%あがり、34.45%、得票率は39.5%となった。高い投票率とは言えないが、過去20年間で一番高い投票率だ。酒井区長への期待感と区政への関心が高まったことへの表れでもあると感じている。

Q 区長はこれまで22年間、区の職員として中野区政に尽力する中で、区長選挙に立ち上がろうという決意するには大きなエネルギーが必要だったはずだ。酒井区長自身が立ち上がらなければいけないと思いついた改善すべきところはどこか。

A 職員が地域に向いて区民の声を聞き、それを施策に反映させるという組織作りが十分でなかった。

Q 施政方針説明の中で、政策決定過程での「区民参加のあり方」が問われた選挙だったと言っている。「区民参加のあり方」はどうあるべきと考えるのか。

A 区の計画や施策を立案する段階から広く情報やデータを公開し、区民の意見を募集する、区の政策立案過程の見える化を進めていく。

Q 基本構想の制定にあたっては、区民ワークショップや基本構想審議会をはじめ、多くの区民と意見交換を重ねて策定をしていくが、スピード感をもって区民に示していく事も大切だと考えるが。

A 年度内を目途に審議会を立ち上げ、併せて区民ワークショップ等の区民主体の検討組織を発足させることなどを考えている。可能な限り早期に制定できるよう取り組む。

第2回定例会にて本会議 一般質問を行いました！

2. 「区民と向き合う区役所への転換」について

Q 職員提案制度は、小さな改善点も提案できるよう間口を広げる必要がある。問題意識を無下にしない区役所文化をつくっていくことがより良い提案につながるのでは。

A 身近なところからアイデアを出してもらい、提案を関連部署等で検討し、改善策に仕上げていく仕組みを検討する。

Q 区長が若手の職員と対話をしていく事も重要だと考える。区長自らがフラットな職場づくりをしていく必要があり、庁内での対話集会も考えていくべきだが。

A フラットな職場づくりのためには、職員や職場が抱えている課題を忌憚なく話し合える環境を作っていく事が重要。職員研修で区長と対話する場は設けているが、今後区長自らが直接積極的に職員と対話できる機会を含めて効果的な方策を考えていく。

Q モバイルワークもまた、地域に職員が飛び出していける環境整備に寄与すると考える。仕組みの構築を進めれば、新庁舎の移転を待たずに導入できるのでは。

A 庁外からのアクセスは技術的にも確立されつつあり、時期を前倒して実施したい。

Q RPA（ロボティックプロセスオートメーション）は業務効率化に有効であり、費用対効果も高い。早期に導入を検討すべきだと考えるが。

A 導入に適した業務について調査を行い、効果が期待できる業務を絞り込んでスタートし、徐々に対象範囲を拡大して全庁的な業務効率の向上につなげていきたい。

3. 中野駅新北口駅前再開発について

Q 中野サンプラザの再整備をどうするか広く区民に公開した上で、議論していくべきと考える。その上で、西口の整備は遅れが出ないように努力すべきと考えるが。

A 南北通路・橋上駅舎の事業計画や整備スケジュールに影響を及ぼすことのないよう、適切に判断し進める。

4. 公園再整備について

Q 哲学堂公園は、国の名勝指定のために使い勝手が悪くなるのであれば、配置について再検討すべきではないか。

A 学習展示施設の配置等については再検討を進める。

その他の活動報告



▲ Woman Shift で「豊島区のワークスタイル改革」について視察



▲ 議会運営委員会が宮崎県都市議会の議会改革を視察



▲ 立憲民主議員団で宮城県巨理町の防災対策について視察



▲ この夏もインターン生と活動します。大学生で意欲のある方をお待ちしています！